

〔選択科目：婦人科〕

1．研修内容

子宮癌、卵巣癌、子宮筋腫、良性卵巣腫瘍を中心とした診断と治療。特に手術療法と化学療法について主体的に研修する。

期間は1ヶ月から8ヶ月まで選択可能。

2．一般目標

婦人科疾患における臨床的基礎知識を確実なものとし、診療に役立てる。

3．行動目標

婦人科医療チームの一員としての責任を自覚し、患者さんに関わる他職種のメンバーとも積極的に連携がとれるように努める。

4．研修目標

実際に、一人の患者さんを指導医の下で入院から退院まで受け持ち、一症例として完結させる。この間、術前のインフォームドコンセント、手術、病理結果説明、退院指導まで、主体的に責任を持って行う。

5．研修実績

研修医一人ひとりの素質や性格を考慮し、症例を割り当てることになるが、最長の8ヶ月間婦人科を選択すれば、約20例の症例を自己完結できるよう指導していく。しかし、大切なのは、あくまで数ではなく内容であるということを最後に強調しておきたい。